

# 令和元年 黒部市教育委員会 6月定例会 議事録

日時 会場	令和元年6月26日(水) 午後1時30分～2時56分 黒部市役所 201 会議室
出席者	教育長 中 義文 教育委員 前田 潤 (教育長職務代理者) 教育委員 加藤 昌弘 教育委員 雪山 俊隆 教育委員 泉 博美 教育部長 長田 行正 次長・学校教育課長・学校給食センター所長 高野 晋 生涯学習課長・ジオパーク推進班長 島崎 豊 スポーツ課長・フルマラソン推進班長 橋本 正則 図書館長・図書館構想推進班長 中嶋ひとみ 学校教育班長 齊藤 誠 こども支援課長 藤田 信幸 学校教育課主幹 輿水 一紀 生涯学習課主幹 舘野 敬子 学校給食センター主幹 松平真由美 学校教育課長補佐 前林 丈雄
傍聴人	なし  (会議冒頭「市民憲章」朗唱)
教育長	只今から、黒部市教育委員会6月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、私が署名します。次に、「5月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。
学校教育班長	5月定例会において、小学校5年生の遠足中の事故について報告しましたが、搬送先の病院の所在地を新潟市としていた説明を上越市に訂正させていただきます。
教育長	今ほど事務局から説明内容の訂正がありましたが、これを含めて質問等がありましたらお願いします。
委員	(質問なし)
教育長	特にないようでありますので、記載のとおりとして議事録に署名することとします。次に「教育長報告」をいたします。  1 所管事業の状況報告について(行事等) (1) 6月8日(土) 富山県立桜井高等学校 創立110周年記念式典(桜井高校) (2) 6月16日(日) 第14回黒部市民体育大会総合優勝旗・優勝杯返還式 スティックリング競技開始式(9:15～)(宮野運動公園体育館) (3) 6月17日(月) 統合中学校校歌作詞者・作曲者来市対応(～18日)(中学校等) (4) 6月21日(金) 第9回シアター・オリンピックス黒部会場前沢ガーデン 野外ステージ完成記念公演(～22日)(前沢ガーデン野外ステージ)

- 2 出席した会議等の概要報告について
- (1) 5月30日(木) 令和元年度富山県市町村教育長会総会(富山市役所)
  - (2) 6月1日(土) くろべ女性団体連絡協議会総会(市民会館)
- 3 所管事務に関する問題・情報等について(児童・生徒の安全・安心に関すること)  
〔前回会議以降、今回会議までの間〕
- (1) 児童・生徒の交通事故等
    - 交通事故(なし)
    - その他の事故等(2件)
  - (2) 不審者情報等(1件)
  - (3) 鳥獣出没情報(1件)
  - (4) いじめの認知件数及び指導の経過(5月報告分)
    - ①小学校(新規認知件数7、指導中1、見守り中5、解消1)
    - ②中学校(新規認知件数1、指導中1、見守り中2、解消0)
  - (5) 令和元年度在籍児童・生徒・園児数(6月1日現在)
    - ①小学校 児童数2,089人(前月比 同数)
    - ②中学校 生徒数1,047人(前月比1人減)
    - ③幼稚園 園児数 76人(前月比3人増) ※こども園含む

教育長

以上、教育長報告としますが、質問がありましたらお願いします。

委員

児童・生徒の交通事故等のその他の事故等において、雲梯から落下した事故ということですが、今ほどの詳しい説明と校長会で指導するという話があり安心したところです。学校管理下の事故であり、学校に責任があるということになります。放課後、母親と一緒に整形外科を受診し、結果を学校に報告したと思いますが、その報告を受けて学校がどのように対応したのか時系列で教えてください。それと、もう一点、学校の対応の不手際ということで、保護者との間で問題が発生しなかったか教えてください。

学校教育班長

雲梯から落下した事故について、養護教諭の見立てと担任から児童への繰り返しの状況確認がありました。児童からは少しよくなったという返答もあったということで、自宅に帰したとのことでした。その後、午後6時頃、保護者から連絡があり、受診をすることになったとのことでした。教頭、担任から保護者に対し、電話で謝罪をしました。保護者からはわざわざ電話をしてもらいありがとうございますとの返事だったということです。その後、午後8時頃、改めて担任からもう一回連絡をして、謝罪をしたとのこと。二段階の対応をしています。そして、次の日の朝、学校に送ってこられたときに、児童の昨晚の様子等を聞くと、特に問題はなかったとの返事があり、学校の見立ての誤り等について、改めて謝罪をして、今後不便がないように対応したいと話したとのことでした。

委員

今ほどの説明において、電話で謝罪したという点が気になるようです。なぜ家まで出向かなかったのか気になります。その点はどうでしょうか。

教育長

私の思いから言いますと、謝罪等が必要な場合は、相手方の都合もありますが、本来は顔と顔をあわせて、誠意をもって対応するというのが原則だと思います。ですので、今後は、相手に誠意を示すにあたってはどのような方法、態度が適切かということについて、校長会に限らず色々な場で話をしたいと思います。

委員

よろしくをお願いします。

教育長

ほかに何かありますでしょうか。(なし)  
次に報告事項に移ります。はじめに「令和2年度国・県に対する重要要望事項(教育委

員会関係)について」報告願います。

教育部長

それでは「報告第1号 令和2年度国・県に対する重要要望事項(教育委員会関係)について」ご説明します。令和2年度国・県に対する重要要望事項といたしまして、教育委員会からは、3件を予定しています。7月1日に県庁に出向きまして要望する予定です。順次ご説明します。

NO. 1 (促進要望)

〔件名〕立山黒部地域のユネスコ世界ジオパークの認定と世界文化遺産登録について  
〔要望先〕(県) 総合政策局、教育委員会

〔内容〕日本ジオパークに認定されている立山黒部地域がユネスコ世界ジオパークの認定に向け取組を進めるなかで、県の支援等を要望するとともに、世界ジオパークの認定が砂防事業をはじめとする「立山・黒部の世界文化遺産」の登録に向けた一歩にもなることから、世界文化遺産登録もあわせ、活動していくというものです。

NO. 2 (継続要望)

〔件名〕小中学校再編にかかる財政支援及び適切な人員配置について  
〔要望先〕(県) 教育委員会

〔内容〕近年、黒部市では小中学校の再編を進めているところですが、安全で安心な通学環境の整備などに十分な通学対策を講じる必要があることから、通学関係経費に関する財政支援をお願いするものです。また、学校再編については児童生徒を取り巻く環境も大きく変化することから、児童生徒の心のケアにもきめ細かく対応していく必要があります。小学校統合の際に1名増員していただいておりますが、今後も中学校の統合がありますので、この制度を継続していただけるよう手厚い教員配置について要望するという趣旨です。

NO. 3 (継続要望)

〔件名〕小中学校における教員配置の充実について  
〔要望先〕(県) 教育委員会

〔内容〕現在不登校になっている児童生徒への学習支援や、登校への足がかりとなる別室登校といった教育機会の確保と充実を図ることは、義務教育において大変重要であると考えていることから、不登校対策にかかる専任教員の配置などが必要不可欠であり、不登校対策への支援について要望するという趣旨です。あわせて、県では平成28年度に小学3年生を対象に「少人数指導」または「少人数学級」のいずれかを選択できる制度が導入されました。平成29年度からは4年生まで継続できるようになっております。しかし、現在の少人数加配の人数だけでは、事実上困難な状態であり、複数学年での「少人数指導」または「少人数学級」に取り組めるよう教員の配置に関して要望するという趣旨です。

教育長

質問があればお願いします。

委員

「小中学校における教員配置の充実について」ですが、教育機会の確保とありますが、平成28年頃に「教育の機会確保法」が成立し、県教育委員会や市教育委員会等に対し、努力義務の方向性が示されたこと記憶しているのですが、それに基づいた用語として用いているのでしょうか。

教育部長

ここでの、別室登校といった教育機会の確保というのは、色々と視察にも行きましたが、不登校の児童生徒は相談室に来るなど居場所はあるが、いるだけで帰っていくという状況があります。ただし、横浜市などの先進地では、実際その場において、勉強をしているという例があります。その意味での勉強する機会の確保のために、単に相談室に来ることだけでなく、不登校対策として、不登校の児童生徒が来て勉強する体制

を整えたいということです。用語として重なる部分があるかもしれませんが、市としてはそのような考えから用いています。

委員

法律としても、それは教育委員会に対し義務として定められていると思いますので、そのことも今後対応を進めていくうえでの材料として押さえておくとういと思います。

委員

関連して聞きますが、今までの相談室登校でも勉強をしていたということはあると思います。時間割の合間に先生が出向いて対応したと思うのですが、ちょっと整理をしてみてもどうかと思います。SS教室（スペシャル・サポート教室）、また、適応指導教室や、さらにカウンセリング指導員による相談室での指導教室など、この3つの関連図というか、どのような形で関連しているのか、役割分担を市教育委員会で体系的にまとめてもらおうとういと思います。適応指導教室の評価を見ると、B以上となっており、非常に機能しているという話です。適応指導教室が十分に機能しているということで、財政的に市の予算も関係していると思いますが、そういった体系的な教育体制、支援体制を考えていかなければならないと思っています。カウンセリング指導員そのものの職務内容は勉強を教えるということではなく、カウンセリングをするということが主になり、小学校を訪問したり、保護者との面接があると思います。何でも、カウンセリング指導員に任せる、SS教室の担当教員に任せる、ということではなく、体系的に分かりやすく誰でも理解できる内容でまとめてもらえたらと思います。

教育長

明確な形での識別した内容で、責任まで含めたものとしてまとめられるかは不明な部分もありますが、本市ではSS教室として進めている取組に配置している教員と適応指導教室（ほっとスペース）に配置している相談員と指導員がいるなかで、そこで実際に学習している子どもたちがいます。ただし、この適応指導教室は、黒部市だけでなく近隣の市町村からも要望があれば、一緒に指導を受けてもよいとなっており、この点でも違いがあります。さらに、カウンセリング指導員は中学校に全て配置されていますが、カウンセリング指導員がどのような業務、任を担っているのかというと、本来はカウンセリングであって、教科指導等のためではなく、いわゆるつなぎ役です。では、相談室で学習している子どもたちに実際誰が指導しているかなどを含め、実態をしっかりと把握したうえで、何か明確に示せるものができるかどうか、努力してみたいと思います。ありがとうございます。

ほかに何かありますでしょうか。（なし）

次に「報告第2号 黒部市議会において議決された教育委員会関係議案」について報告願います。

教育部長

それでは「報告第2号 黒部市議会において議決された教育委員会関係議案」についてご説明します。まず、「黒部市立たかせ小学校大型スクールバスの取得（議案第77号）」についてです。目的としては、たかせ小学校大型スクールバスの老朽化に伴い、児童の安全輸送のため新車バスを取得しようとするものです。取得物件は大型スクールバス、取得金額は26,892,000円、契約方法は指名競争入札で、6社が応札し、落札率は95.77%でした。契約の相手方は勇晃内燃機工業株式会社、納期は令和元年9月27日です。次に、「（仮称）鷹施・高志野統合中学校校舎大規模改造第2期工事（建築主体）請負契約の締結（議案第78号）」についてです。目的としては、令和2年度に統合校「清明中学校」として開校を迎える現在の高志野中学校校舎について、よりよい学校環境整備のため、本件請負契約を締結するものです。工事名は「（仮称）鷹施・高志野統合中学校校舎大規模改造第2期工事（建築主体）」、契約金額は224,950,000円、契約方法は条件付き一般競争入札で、3社が応札し、落札率は97.94%でした。契約の相手方は共和土木株式会社、工期は契約締結の日の翌日から令和2年3月13日までです。内容は、校舎山側の特別教室棟の内装、外壁等の改修工事、老朽設備の更新等です。説明は以上です。

教育長

質問があればお願いします。

委員

S S教室の実施にあたり、清明中学校ではどこで行われるのでしょうか。

教育部長

現在、桜井中学校でS S教室を実施していますが、高志野中学校の改造においてはなかなか部屋の確保が難しい状況です。桜井中学校では一定数の対象者がおり至急対応する必要があるとのことで実施していますが、高志野中学校では統合後すぐに設置することは難しいと考えています。ただし、統合後、対象が増えることも考えられるので、様子を見ながら必要であれば、対応を検討したいと考えています。学校側としては、部屋の設置も大事であるが教員の確保が必要であり、設置しても子どもたちを指導できないということになりかねませんので、来年春の統合の状況を見極めて対応を考える必要があると思います。

委員

何度か話していますが、2つの学校で大きな差がないように、レベルの差がないように市教育委員会に対応してもらいたいと思います。片方あって片方ないということがいくつかあると思いますが、できるだけ差を小さくしてもらいたいと思います。

教育長

努力をして、何とか差が出ないようにしたいと思います。  
次に、「報告第3号 黒部市議会6月定例会一般質問・答弁要旨（教育委員会関係）」について報告願います。

教育部長

それでは「報告第3号 黒部市議会6月定例会一般質問・答弁要旨（教育委員会関係）」についてご説明します。6月定例会では10名の方から質問を受けました。

自民クラブの代表質問として中村議員から、一点目の「未来に育む子どもの育成」について、一つ目は「教育長就任に当たり所感を」との質問でした。二つ目の「教員の多忙化は解消できているか」との質問に対し、答弁者は教育長で、「平成30年7月の集計では、小学校は月の時間外勤務が平均66時間、中学校は83時間、月の時間外勤務が80時間を超える教員は、小学校で32%、中学校では56%であった。これが、平成31年2月の勤務時間調査では、小学校は平均55時間、中学校は68時間、80時間を超える教員は、小学校12%、中学校32%になり、働き方改革としての成果も現れ始めてきたと感じている」と答弁しています。三つ目は「道徳の授業」について、四つ目は「ふるさと教育についての所感を」との質問でした。五つ目の「今後の黒部市立小中学校再編計画の考えは」との質問に対し、答弁者は教育長で、「市議会「学校統合及び跡地利用対策特別委員会」の中でも議論が行われており、市議会をはじめ市民の皆様とともに、次世代に向けた長期的な視点で議論を重ねていきたいと考えている。」と答弁しています。六つ目は「シアター・オリムピックスに関し、市は小中高生に何を期待しているのか」、七つ目は「カーター記念黒部名水マラソンに関し、教育的視点から今後とも何を期待するのか」との質問でした。二点目の「第2次総合振興計画」について、「(仮称)くろべ市民交流センターに関し行政と市民と各種団体の協働の取り組みは重要であり展開の考えは」との質問でした。

続いて、自民同志会の代表質問として成川議員から、一点目は「イベント成果と今後の進め方」について、「第9回シアター・オリムピックス」開催機運をどう盛り上げていく考えか、また二点目の「防災・減災」について、「ジオパーク教育に防災の視点を入れて市民が学ぶ機会を作ってはどうか」との質問でした。

続いて、中野議員から、「働き方改革による教職員の現状」について、一つ目は「新し

く教育長に就任されての抱負を伺いたい」、二つ目は「教員の人数は実際何人不足していて、国・県への要望は行っているのか伺いたい」、三つめは「教員の労働環境は改善されているのか伺いたい」、四つ目は「部活動の対応はどのように行っているのか伺いたい」との質問があり答弁しています。

続いて、大辻議員から、「食品ロス・食品廃棄物の削減」について、「食品ロスゼロを目指してみんなでチャレンジのサンプル活用」についての質問でした。

続いて、柳田議員から、「豪雨による災害対策及び防災情報の提供」について、「平成30年7月の豪雨災害を受けてガイドラインが改正され、それについての本市の対応」についての質問でした。

続いて、谷村議員から、「道路の安全対策」について、「通学経路の安全対策と道路整備状況を伺う」との質問に対し、私が答弁していますが、「本市においては、児童生徒と保護者が学校と相談し、自宅から学校までの登下校の経路を決定している。各家庭では学校までの道路事情を考慮して通学に適した経路を検討し、学校では交通量等から通学にふさわしくない道路を利用しないように指導しており、このような過程を経た経路を本市では通学経路と呼称してきている。これら通学経路のうち、改善が必要と思われる箇所については、道路管理者等の関係機関と相談しながら、通学路として道路幅や歩道整備などの対策を講じてきている。来年度4月の清明中学校の開校に伴い、現在、鷹施中学校へ通学している生徒は、同様の方法で新たな通学経路を決定することになる。市教育委員会としても危険個所の把握等を行い、学校と連携しながら安全な通学経路の確保に努めていく。なお、通学経路の安全対策と道路整備に関しては、新たに多くの生徒が「市道生地石田線」を利用することが見込まれることから、立野東交差点付近から南方面T字路までの区間について歩道や防犯灯の整備を進めている。」と答弁しています。

続いて、辻議員から、「桜井高校附近の交差点に「信号機」の設置」について、「通学経路対策で「人命第一」の取り組み」についての質問でした。都市建設部宛にも関連した質問がありました。

続いて、高野議員から、「子どもたちの安心安全対策」について、まず、「本市の小中学校への通学は、現在「通学経路」となっているが、「通学路指定」への見解」について、次に「黒部市通学路安全対策プログラム」について、次に「「110番の家」の現状と避難の訓練」について、次に「子どもたちの安全・安心に対する決意」についての質問がありました。

続いて、小柳議員から、一点目の「学校教育」について、一つ目は「今後の市内公立小学校における再編計画の見直しや留意点」について、二つ目に「小中学校の再編において、新設校とする場合の新校建設や大規模改修の必要性」について、三つ目に「少子化の進行を念頭に、どの時代を意識して再編計画を見直すのか」について、四つ目に「あらゆる多様性に対して行政として対応する基本的な考え方」について、五つ目に「教員の配置」についての質問がありました。二点目の「市内公共施設における、インターネット環境整備」について、「各地区公民館、中央公民館でのインターネット環境」

についての質問があり、私が答弁していますが、「17 館すべての公民館の事務所において、インターネット接続のパソコンを1台以上設置している。通常の公民館活動においてはWi-Fiを利用する機会は少ないと考えられるため、Wi-Fi整備はされていない状況である。」と答弁しています。

続いて、橋本議員から、「小中学校の暑さ対策」について、一つ目は「小学校ランチルームへのエアコンの設置にかかる検討状況」について質問があり、先般の議会でも質問があったものです。「現在、市内全小学校において、ランチルームにはエアコンが整備されていない状況である。近年の夏場の猛暑の際にはエアコンのある普通教室において給食を実施するなど、工夫している学校もある。このためランチルームの構造や立地から、大変暑い学校については、教室等での給食の実施など給食提供に必要な環境整備も含めて、今後対応を検討していきたいと考えている。」と答弁しました。二つ目は、「今年の猛暑を考へての鷹施中学校・宇奈月中学校へのエアコン設置」についての質問がありました。これについては、「宇奈月・鷹施の両中学校については、昨年度、暑さ対策として、普通教室の壁や天井部に扇風機設置等の対応を行い、運用した。今シーズンの猛暑に対する具体的な対応については、教育委員会内において、これまで以上に効果のある方法について検討を重ね、電気工事が不要な点から「ウインドクーラー」を各教室に複数台設置し対応する方向で進めているところである。」と答弁しました。

説明は以上です。

教育長

質問がありましたらお願いします。

委員

最後の答弁ですが、ウインドクーラーの設置について、教育長や事務局、関係者が対策を考えられ、英断であったのではないかと思います。対応されたことで、子どもたちにとって、暑さだけでなく湿気などの面でも快適に過ごし、勉強の能率も上がるのではないかということから、すばらしい判断をされたと思います。ありがとうございました。また、教育長への就任に伴って、教育観というか指導観についての質問があり答弁されていますが、黒部市の教育大綱、教育の方針に基づきながら、という点を強調されています。ぜひ、常にこの二つを気に留めながら、教育行政のリーダーとして取り組んでもらえればと思います。あれはあれ、これはこれではなく、しっかりと一本筋の通った教育行政をお願いしたいと思います。それと、スクール・サポート・スタッフのことも答弁で少し触れられていましたが、学校の通常訪問研修を訪れた際、配置してもらい感謝しているとの話がありました。市PTA連絡協議会等の会議の出席者の出欠取りまとめ等もしてもらっているというような話だったのですが、これは校務ではないと思います。スクール・サポート・スタッフは教員の校務に対するサポートであり、PTAに関することはサポートの対象外だと思います。市PTA連絡協議会関係等は線引きが難しいのかもしれませんが、しっかりと業務内容を区別したほうが良いと思います。あわせて、ある中学校の教頭先生が事務局を四つ受け持っているとの話がありました。色々な事務局があると思いますが、教頭先生は持ち時数が若干少ないとはいえ、授業に出るより外部との渉外というか折衝をよく行っていることは、本末転倒ではないかという気がします。教頭先生は、授業も出て、子どもたちの様子を見るという仕事だと思いますが、あまりにも外部との関わりが大きすぎるので、市PTA連絡協議会の事業等は、一つの案として、そうしなさいということではないのですが、市教育センターにお願いするなど、働き方改革の点からも教頭先生の負担を軽減するといったことも考える必要があるのではないかと思います。最後になりますが、35人以下学級の市単独による小学校の教員配置ですが、十分検討してもらいたいと思います。できれば、ほかの点に予算を有効的に配分するといったことも検討してはどうかと思います。

学校教育班長 スクール・サポート・スタッフについて、委員が言われるとおり本来学校の業務を補助する仕事です。先ほど配置されている学校に電話して、時間外勤務が若干短くなった背景として、小テストの確認等をお願いできるようになったことがあるとのことでした。今までは少し遠慮していたが、学校に配置され時間が経つにつれ、色々とお願ひするようになったので、その点はよいことだと思いますが、それが若干行き過ぎた点、また説明の不備があったのかもしれませんが。

教育部長 少人数指導、少人数学級の件ですが、選択制とはなっていますが、なかなか対応が難しいなかで、市単独での対応となっています。現在取り組んでおり、県にも要望しているということもありますが、他の小学校でも該当となる可能性があり、今後も同様の対応で教員が確保できるのか、費用面より人材確保の面で難しいのではないかと考えています。関係者の尽力や今までの経緯もありますが、事務局としても色々見極めながら検討したいと思います。

教育長 ほかに何かありますでしょうか。(なし)  
次に「報告第4号 課等の事業報告(経過・予定)について」報告願ひします。

学校教育課長 [経過事業]  
○5月30日 令和元年度富山県市町村教育長会総会  
○5月31日 中学校統合準備委員会第1回学校運営統合専門部会合同会議  
○6月3日 学校訪問：通常訪問研修(村椿小学校)  
○6月4日 学校訪問：通常訪問研修(桜井中学校)  
○6月5日 学校訪問：通常訪問研修(宇奈月中学校)  
○6月6日 黒部市議会6月定例会(～24日)  
○6月6日 学校訪問：通常訪問研修(石田小学校)  
○6月8日 富山県立桜井高等学校創立110周年記念式典  
○6月10日 学校訪問：通常訪問研修(鷹施中学校)  
○6月11日 学校訪問：通常訪問研修(中央小学校)  
○6月13日 中学校統合準備委員会第1回PTA組織統合専門部会合同会議  
○6月17日 統合中学校校歌作詞者・作曲者来市対応(～18日)  
○6月17日 小中学校長研修会  
○6月19日 中学校統合準備委員会学校運営統合専門部会 教頭部会・事務部会(合同会議)  
○6月21日 黒部市奨学生審査会

[予定事業]  
○7月1日 永年勤続教職員表彰伝達式(勤続20年・30年)  
○7月1日 令和2年度予算に対する国・県への重要要望活動  
○7月8日 小中学校長研修会  
○7月9日 富山県市町村教育委員会連合会 理事会  
○7月9日 富山県市町村教育委員会連合会 定期総会・研修会  
○7月26日 教育委員会7月定例会

生涯学習課長 [経過事業]  
○6月1日 くろべ女性団体連絡協議会総会  
○6月9日 くろべ水の少年団結団式  
○6月11日 夏のさわやか運動(～14日)



- 6月21日 愛本姫社まつり
- 6月21日 第9回シアター・オリンピックス黒部会場前沢ガーデン野外ステージ完成記念公演(～22日)

〔予定事業〕

- 6月29日 青少年育成黒部市民会議総会
- 7月8日 尾山の七夕流し・中陣のニブ流し調査準備委員会
- 7月20日 黒部市美術館開館25周年「葉 祥明展 今、僕はここにいる」オープニングセレモニー
- 7月28日 中陣のニブ流し

スポーツ課長

〔経過事業〕

- 6月14日 黒部市「東京2020オリンピック・パラリンピック」アーチェリー競技事前キャンプ誘致推進実行委員会
- 6月16日 第14回黒部市民体育大会総合優勝旗・優勝杯返還式スティックリング競技開会式
- 6月22日 第52回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会開会式(～23日)

〔予定事業〕

- 7月7日 第14回黒部市民体育大会(野球、ソフトボール女子、テニス、柔道、バドミントン、ビーチボール、フットサル)
- 7月14日 第14回黒部市民体育大会(ソフトボール男子、ソフトテニス、バレーボール、相撲、水泳、パークゴルフ)
- 7月20日 黒部市「東京2020オリンピック・パラリンピック」アーチェリー競技事前キャンプ誘致推進事業韓国体育大学アーチェリー部キャンプ(～27日)
- 7月27日 第72回富山県民体育大会中心会期(～29日)
- 7月29日 日独スポーツ少年団同時交流(～8/2)

図書館長

〔経過事業〕

- 5月31日 黒部市図書館協議会
- 6月3日 黒部市図書を愛する会視察
- 6月9日 黒部市図書を愛する会講演会

〔予定事業〕

- 7月2日 「宇宙ってすごい！」(～31日)

学校給食センター所長

〔経過事業〕

- 5月31日 学校給食会総会
- 5月31日 市内栄養教諭研修会
- 6月7日 魚津地区栄養教諭等研修会

〔予定事業〕

- 7月1日 黒部市学校給食研究会
- 7月12日 黒部地場産学校給食の日(第1回目)

こども支援課長

〔経過事業〕

- 5月30日 遠足(4・5歳児)【石田こども園】 等
- 6月 3日 眼科検診(3・4・5歳児)【石田こども園】 等
- 6月 6日 尿検査(3・4・5歳児)【石田こども園】 等
- 6月18日 保育参観(3・4・5歳児)【生地こども園】 等
- 6月21日 美術館出前教室(アンブレラアート)(5歳児)
- 6月26日 防犯教室(子供安全サポーター)

〔予定事業〕

- 7月 5日 七夕の集い(2・4歳児祖父母参加)【石田こども園】 等
- 7月24日 終業式【さくら幼稚園・各こども園】
- 7月26日 カレーパーティー(1年生と交流)【生地こども園】 等

教育長

質問があればお願いします。

委員

シアター・オリンピックスに関してになります。今さらになることかもしれませんが、先日、前沢ガーデンで公演を鑑賞しました。改めて、市としてバックアップされると思いますが、市民の方々をはじめ、小中学生等が鑑賞する際、どのように公演を受け止めるのだろうか少し不安になりました。割と表現の仕方が前衛的であり、万人が楽しめるものではないと思います。ああいったものは、いわゆるピカソの絵を見るときに前知識がいるように、多少のガイドがないと多分万人には受け止めにいく、恐れたのは拒否反応を起こされるともったいないという印象を受けました。せめて、物語、ストーリーをまず先に知っておくなど、前振りがないと、多分楽しみ方が分からないと思います。ごく少数の子どもはすぐに何かを受け取る場合もあるかもしれませんが、それはかなり少数派で、多くの子どもたちにとって「あれは何だったんだ」となってしまう可能性があるとする、もったいないと思います。今さらとも思ったのですが、少しでも前振りをした方が観やすいと思います。どこをどう観れば楽しめるのか、というようなガイドが必要であると思います。これは多分伝統文化全般に通じることですが、獅子舞をパッと見て楽しめる人は多分おられず、ストーリー、背景が分かったうえで、楽しめるという見方もあると思います。今回の作品も、全体的にパッと見て娯楽的に楽しめる作品とは質が違うので、特に小中学生が観る場合においては、せめてストーリーを先に知らせられればと思います。公演では、紙一枚に簡単にストーリーをまとめたものが配られました。その内容をもう少し深めた内容を事前に配付し読んでもらったほうが、受け取りやすいのではないかと思います。

生涯学習課長

委員が言われたとおり前衛的な演劇なので、最初に何も分からずに観ると、なかなか理解できないところもあると思います。解説文は実際必要だとは思いますが、あまり細かい内容だと、受け取り方、考え方に影響を及ぼす可能性があり、こういう内容だと決めつけるものではなく、解説文を見たうえでどのように受け止めることができるか、その手助けとなる内容であればと思います。そういった点を含め、観覧前に小中学生に何か配付できるか検討したいと思います。

教育部長

今回の「ディオニュソス」は鈴木先生の作品で、黒部市の本公演では一回のみの公演となります。その他に、鈴木先生が演出される作品はなく、それ以外での小中学生を対象としたものとして「青い鳥」という公演があります。小中学生対象の公演は以上の2

つですが、劇団SCOTの方によれば、「青い鳥」は若干理解しやすい内容ではないかとのことです。

委員

実行委員会の方々が、例えば、笑ってもいいというように、かしこまらず観てもいいというような、ちょっとしたガイドをしてもらえればと思います。自由に観てもいいということが分からないなど、観覧の仕方そのものも分からない可能性があります。

教育部長

「ディオニュソス」は難解な部分もあると思いますが、外国の方が演出されるものもあるので、対応は検討したいと思います。

委員

変にひかれてはどうかと思ったので、よろしくをお願いします。

教育長

ほかに何かありますでしょうか。(なし)  
次に、「連絡事項等」についてお願いします。

学校教育課長

(今後の日程について確認)

- 富山県市町村教育委員会連合会 理事会・総会及び研修会  
【日時】 7月9日(火) 午前11時～午後4時  
【場所】 富山市南総合公園体育文化センター
- 教育委員会7月定例会 【日時】 7月26日(金) 午後3時00分  
【場所】 201 会議室
- 教育委員会8月定例会 【日時】 8月27日(金) 午後1時30分  
【場所】 201 会議室

教育長

全体を通して、何かありますでしょうか。

委員

先ほどの話のなかで、少人数学級の適用について話がありました。市の予算を有効に使うという意味はよく分かります。この件については、教員配置の予算を確保したこと、県にも要望していることなどがあり、決めていた配置を外すとすると現場とすれば朝令暮改の感を受ける懸念もあると思われれますので、より必要なことがあれば予算はそちらに回すことになるかもしれませんが、慎重に検討してもらえればと思います。

教育長

ほかに何かありますでしょうか。(なし)  
以上で、本日の会議を終わります。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

令和元年7月26日

署名人 黒部市教育委員会 教育長 中 義 文